『講座〈数学の考え方〉16　初等整数論』正誤表

第 1 刷への修正（1）

頁	位置	誤	正	備考
i	↑8	真価を見えてこない	真価は見えてこない	
5	↑2	両辺の比の極限をとれば等しい	両辺の比の極限が 1 になる	
7	↑4	$0 < x < 1/2$	$0 < x \leq 1/2$	
8	↑9	$0 < x < 1/2$	$0 < x \leq 1/2$	
20	↓12	14 個	53 個	
21	↑10	$y_2 = 0$	$y_2 = 1$	
24	↓11	なっているから	なっているので	これは単に“から”が続くのを嫌った変更
	↑6,10	p_i	p_1	
37	↑6	（ここまでのまとめなので略.）の後ろに証明終わりの四角マークを書く.		
52	↓4	$\varphi(6) = 4$	$\varphi(6) = 2$	
57	↓11	$(-1)^r$	$(-1)^r \dfrac{m}{p_1 p_2 \cdots p_r}$	
59	↑6	$g(2) = f(1) - f(2)$	$g(2) = -f(1) + f(2)$	
	↑5	$g(3) = f(1) - f(3)$	$g(3) = -f(1) + f(3)$	
63	↓7	$\cdots + 2_r 2^r$	$\cdots + n_r 2^r$	
69	↓6	位数が q_1	位数が $2q_1$	
	↓8	位数が q_2	位数が $2q_2$	
74	↑8	$2^{\frac{p-1}{5}}$	$2^{\frac{p-1}{3}}$	
76	↓6	$\mathrm{GCD}(F, R) = 1$	（削除）	すぐ上に既に書いてある
78	↓7	32	31	
82	↑5	オイラー関数の値 $\varphi(n)$ からその二つの素因数はすぐにわかる	オイラーの関数 $\varphi(n)$ がわかればその二つの素因数はすぐに計算できる	これは誤解を避けるための変更
88	↓15	$2^2 \equiv 3^2$	$2^2 \equiv 5^2$	
102	↓2	m	μ	
103	↓8	これは $2\sin(2\pi x)$ のことである	これは $2\sqrt{-1}\sin(2\pi x)$ のことである	
105	↑6	$\left(\dfrac{p}{q}\right)\left(\dfrac{r}{p}\right)$	$\left(\dfrac{p}{q}\right)\left(\dfrac{p}{r}\right)$	
106	↓1	$p_1 p_2 \cdots p_r$	p_i	
108	↓1	$\left(\dfrac{3}{5}\right)$	$\left(\dfrac{2}{5}\right)$	
	↓10	$= 1$	$= -1$	
115	↑1	$-4x^2 - 12x - 23$	$-4x^2 - 13x - 22$	
116	↓2	$-4x^2 - 12x - 23$	$-4x^2 - 13x - 22$	
120	↓4	$\mathbb{F}_p$ 係数の違い	$\mathbb{F}_p$ 倍の違い	
121	↑2	3^3	3^2	
126	↑6	$\forall f(x) \in K(x)$	$\forall f(x) \in \mathbb{F}_p(x)$	
	↑4,2	$K[x]$	$\mathbb{F}_p[x]$	
	↑3	$K(x)$	$\mathbb{F}_p(x)$	
137	↑9	「巡回群である.」の後に証明終わりの四角マークを書く.		
140	↑5	期待されたように，これで二つの解が分離されはしないことがわかる	期待に反して，これでは二つの解が分離されないことがわかる	
141	↓12	$x^2 - 2 \bmod 67$	$x^2 + 2 \bmod 67$	
	↓15	平方剰余 c	平方非剰余 c	
	↓17	ならば $(b + k)$	ならば $(-b + k)$	
145	↓10	$rg(x)$	$rf'(x)g(x)$	
	↑6	簡単な方法で知ることはできない	簡単な方法で 1231^2 を知ることはできない	これは誤解を避けるための変更
146	↑9	1 次因数	1 次因子	用語の統一
147	↑13	$x + 2497996593314835113$	$x + 192153584101141162$	
	↑4	これより多項式 $f(x)$ は	これより多項式 $f(x)$ の一次因子全部の積は	
164	↓4	$f - cs_1$	$f - c$(この対称式)	
167	↑6	以下では $\Phi_n(x)$ は $\mathbb{Z}$ 係数の既約な多項式であることを示す	以下では $\Phi_n(x)$ は $\mathbb{Z}$ 係数の既約な多項式であることを証明する	これは誤解を避けるための変更
171	↓4	$\dfrac{(x^{15}-1)(x^5-1)}{(x^3-1)(x-1)}$	$\dfrac{(x^{15}-1)/(x^5-1)}{(x^3-1)/(x-1)}$	
175	↓7	とくにこの	とくにこの多項式の	これは誤解を避けるための変更
181	↓9	a^3k	a^3k^2	

第 1 刷への修正（2）

頁	位置	誤	正	備考
192	↑9	最小原始根は 23 である.	最小原始根は 12 である.	
	↑9	web 上のプログラム例を参照.	数値が大きくて web 上のプログラム例は適用できない.	
193	↓12	$a \not\equiv 1 \bmod n$	$a^{n-1} \not\equiv 1 \bmod n$	
200	↑4,2,1	$x^2 - 2$	$x^2 + 2$	4 箇所ある
	↑1	$x^2 = 2$	$x^2 = -2$	
204	↑13	$p \equiv 1 \bmod 7$ ならば $\Phi_7(x)$ は mod 2 で	$p \equiv 1 \bmod 12$ ならば $\Phi_{12}(x)$ は mod p で	
	↑12,10,8	p の mod 7 における	p の mod 12 における	
205	↓13	$-3g_2 - g_1 = 6$	$-3g_2 - g_1 = 5$	
	↓15	$g(x) = x^3 - 4x^2 + 6x - 10$	$g(x) = x^3 - 5x^2 + 10x - 7$	